

FRP防水の改修工事に最適!

FRP防水に強力に接着!

リフォーム・リフレッシュ・メンテナンスに…

特殊変性樹脂接着剤

ボース パワーボンド

FRP防水が一般に広く上市されて10年以上が過ぎ、今改修期を迎えています。ところがFRP中のパラフィンワックスの影響でそのままでは上塗り材が接着せず、やむなくサンダー処理で面荒しているのが現状です。その際、大量に発生する粉塵は近隣の迷惑となり、作業員の健康への負担も大変なものです。そこで当社が開発したボースパワーボンドはFRPや各種下地に強力に接着し、フラットな仕上りとなりそのまま防水下地としても最適です。又各種上塗材との接着性も良好で、きっとご満足して頂けるものと確信しています。



容 量	主 剤……………7.5kg	合計10kg
	硬化剤……………2.5kg	
施工面積	塗厚1mmの場合……………9㎡	
	塗厚2mmの場合……………4.5㎡	



BOTH CO., LTD.

特殊変性樹脂接着・下地補強材

ボース パワーボンド

特 長

- 強力な接着力で下地を選びません。
- 耐水・耐薬品性に優れています。
- レベリング性がありフラットな仕上がりとなります。
- 無溶剤タイプで低臭、安全です。

用 途

- FRP用接着剤ですが、各種下地への接着性が良好です。従って各下地への接着下地材として使用できます。
- 仕上りはフラットで1次防水材としての性能も併せ持ちます。

使用方法

- 主剤・硬化剤の二液性からなり、主剤と硬化剤を所定の割合で混ぜ均一に混ぜるまで良く攪拌して下さい。
- 主剤・硬化剤の上部を開缶し、それぞれ良く攪拌して下さい。
- 次に硬化剤を主剤の中に混入し、両者が均一になるまで良く混ぜて下さい。攪拌はマゼラー等機械を使用し、手練りは避けて下さい。この場合両者が均一なグレーになれば攪拌完了です。
- 攪拌後はコテ・ヘラ・ハケ等で均一に塗り広げて下さい。可使時間は30分前後です。(20℃)
- プライマーはコンクリート・モルタル・合板以外は特に必要としません。

取扱上の注意

- 下地表面が劣化している場合は、ディスクサンダー等で脆弱部分を撤去して下さい。
- 5℃以下での施工は避けて下さい。
- 降雨・降雪時は施工しないで下さい。
- 溶剤、その他希釈剤は混入しないで下さい。
- パワーボンドにトップコート仕上する場合はアクリルウレタン系を使用して下さい。
- FRP成型品への接着は剥離剤の影響で接着しないものがありますので、事前に接着テスト又は十分にサンディング処理をして下さい。

配合比 3 : 1 (重量比)

混合比重 1.1

試験結果

ボースパワーボンドの接着力試験結果(建研式)

被着体	引張強度(kg/cm ²)	被着体	引張強度(kg/cm ²)
コンクリート	28.7 ★★★	鋼板	21.3 ★
ガラス	11.3 ★	アルミニウム	32.5 ★
磁気タイル	32.5 ★★★	ステンレス板	32.5 ★
硬質塩ビ板 (下地面荒し)	11.3 ★★ (表層剥離)	FRP	25.0 ★★★
ウレタン	22.5 ★★★	アスコン	25.6 ★★★
合板	11.3 ★★★	塩ビシート	11.0 ★★★ (表層剥離)

ボースパワーボンドの耐薬品性試験結果(スポットテスト)

薬品	濃度		膨潤性有無
	5%	10%	
塩酸	僅か白変	僅か白変	無し
硫酸	僅か白変	僅か白変	無し
硝酸	僅か白変	僅か黄変	無し
酢酸	僅か膨潤	やや膨潤	有り
苛性ソーダ	微かに変色	微かに変色	無し
次亜塩素酸ソーダ	白変	青変	無し

各種仕上材(防水剤)の接着性試験結果

仕上材	引張強度(kg)	備考
ウレタン	31.3kg ★★★	ベースタックモルタル (下地面荒し)
FRP (エフバック)	21.9kg ★★★	13.8kg (材料破壊)

	結果	膨潤性
海水 (3%食塩)	変化無し	無し
キシレン	変化無し	無し
ガソリン	変化無し	無し
マシン油	変化無し	無し
水道水	変化無し	無し

※注 ★ボンドが破壊 ★★界面で剥離 ★★★下地破壊